

社会資本総合整備計画（政策分野「活力創出基盤整備」）

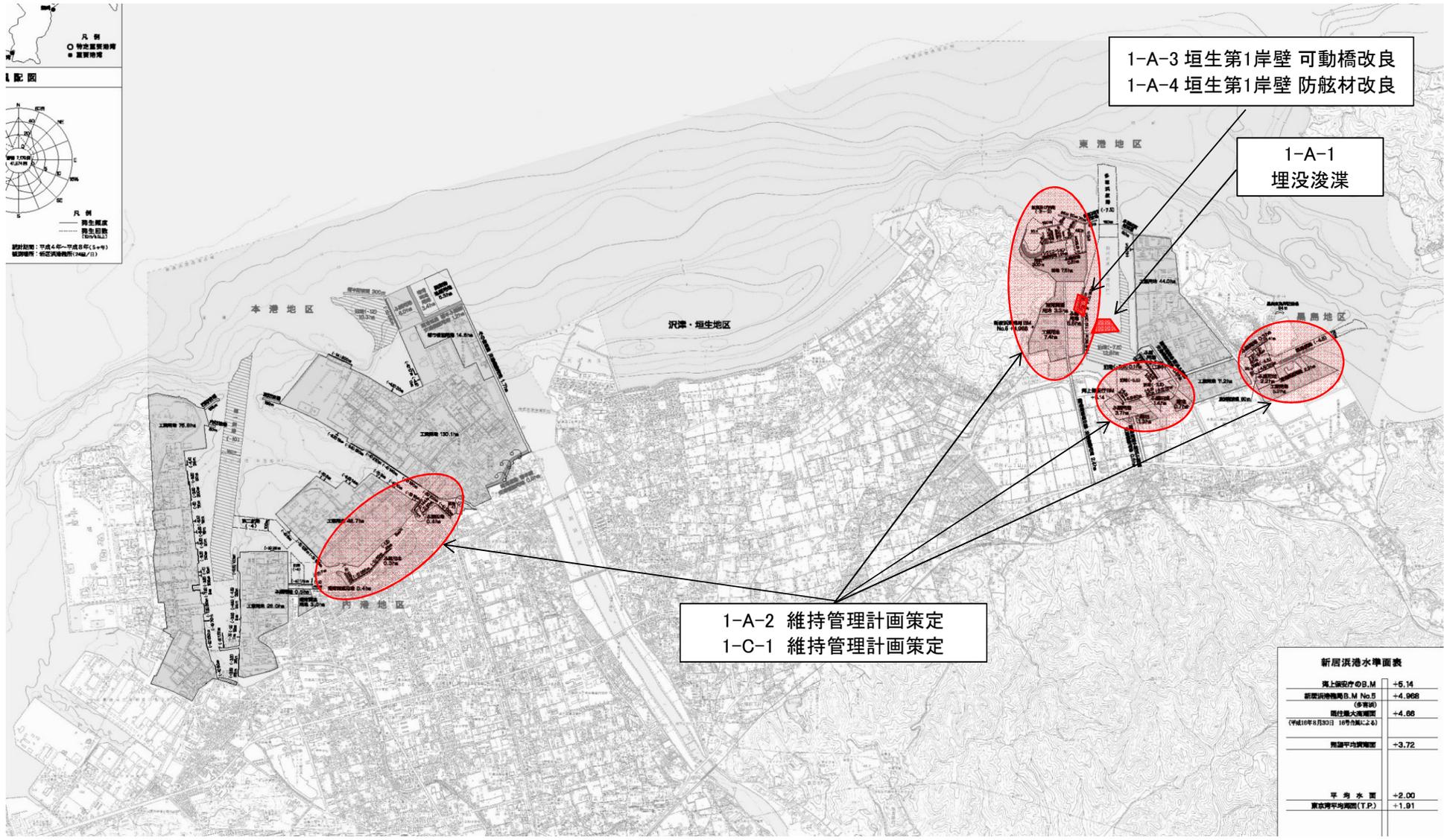
計画の名称	新居浜港における港湾施設の管理と利便性の向上																
	平成23年度～平成27年度（5年間）					交付対象	新居浜港務局										
計画の目標	港湾施設の維持管理計画を策定し、適切な維持管理を実施することで、施設の延命化を図る。また、埋没浚渫等、機能を確保すべき施設については早期に機能確保を行い、港湾施設の安全と利便性を確保する。																
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 港湾施設である外郭施設、係留施設、臨港交通施設の計47施設の維持管理計画を策定し、施設の長寿命化を図る。 埋没が確認されている泊地について浚渫を行い、適正な水深を確保する。また、港湾施設等の機能を確保すべき施設を改良し、安全と利便性を確保する。 																
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値					備考								
				当初現況値	中間目標値	最終目標値											
				(H23)	(H25末)	(H27末)											
	維持管理計画を策定した施設数の、策定すべき施設数に占める割合を算出する。 (維持管理計画を策定した割合) = (維持管理計画を策定した施設数) / (維持管理計画を策定すべき施設数) (%)			0%		100%											
	泊地の埋没浚渫を実施した土量の、適正な水深を確保するために浚渫すべき土量に占める割合を算出する。 (埋没浚渫を行った割合) = (埋没浚渫をした土量) / (埋没浚渫すべき土量)			0%		100%											
	係留施設等の機能を確保した施設数の、機能を確保すべき施設数に占める割合を算出する。 (機能確保すべき施設数の割合) = (機能確保した施設数) / (機能確保すべき施設数)			0%		100%											
拠点施設・重点地区	【拠点施設】																
全体事業費	合計 (A+B+C)	494百万円	A	459百万円	B		C	35百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	7.1%							
事後評価（中間評価）																	
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期																	
事後評価（中間評価）の実施体制						事後評価（中間評価）の実施時期											
新居浜港務局で事後評価を実施						事業終了後 公表の方法 新居浜港務局（新居浜市）ホームページに掲載											
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A1 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
1-A-1	港湾	内地	新居浜港務局	直接	新居浜港務局	重要	改良	泊地(-7.5m) 埋没浚渫	浚渫 V=51,000m3	新居浜港・東港地区						186	新規、 統合①
1-A-2	港湾	内地	新居浜港務局	直接	新居浜港務局	重要	維持管理	新居浜港 長寿命化計画策定	外郭施設12件、係留施設30件、臨港交通施設5件	新居浜港・本港地区、東港地区						16	新規
1-A-3	港湾	内地	新居浜港務局	直接	新居浜港務局	重要	改良	垣生第1岸壁 可動橋改良	塗装、床版取り替え	新居浜港・東港地区						25	新規
1-A-4	港湾	内地	新居浜港務局	直接	新居浜港務局	重要	改良	垣生第1岸壁 防舷材改良	防舷材取り替え	新居浜港・東港地区						232	新規
合計																459	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
合計																0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
1-B-1																	
1-B-2																	

C 効果促進事業										事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 地区名	H23	H24	H25	H26	H27		
1-C-1	港湾	内地	新居浜港務局	直接	新居浜港務局	維持管理	新居浜港 長寿命化計画策定	水城施設12件、外郭施設16件、臨港交通施設11件、旅客乗降用固定施設2件	新居浜港・本港地区、東港地区						10	新規
1-C-2	港湾	内地	新居浜港務局	直接	新居浜港務局	検討会の実施	港湾施設安全・利便性検討	新居浜港の安全・利便性に関する有識者懇談会の開催	新居浜港・本港地区、東港地区						25	新規
合計															35	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
1-C-1	港湾事業(1-A-2)と一体的に計画策定を行い、新居浜港の港湾施設全体の維持管理計画を策定する。															
1-C-2	港湾事業(1-A-1,2)の検証と一体的に実施することにより、事業をより効率的に進めることで、新居浜港の安全及び利便性の向上を図る。															

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 港湾施設の長寿命化計画に基づく適切な維持管理を図ることができた。 泊地浚渫の実施と老朽化した岸壁の付属施設の改良等により、物流機能の強化ができた。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①維持管理計画を策定した施設数の、策定すべき施設数に占める割合	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	計画どおり策定を行った
		最終実績値	100.0%		
	指標②泊地の埋没浚渫を実施した土量の、適正な水深を確保するために浚渫すべき土量に占める割合	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	計画どおり浚渫を行った
		最終実績値	100.0%		
	指標③係留施設等の機能を確保した施設数の、機能を確保すべき施設数に占める割合	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	計画どおり防舷材の取り替え、可動橋の改良を行い、係留施設の機能確保を図ることができた。
		最終実績値	100.0%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
今後も長寿命化計画に基づき適切な維持管理を行い、港湾施設の安全性、利便性を確保していく。					

(参考図面) 政策分野 活力創出基盤整備

計画の名称	新居浜港における港湾施設の管理と利便性の向上		
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度 (5年間)	交付対象	新居浜港務局



新居浜港水準面表

海上面設定のB.M	+5.14
新居浜港機橋B.M No.5 (多摩川)	+4.968
居住最大高潮面 (平成16年8月30日 16号台風(2-6))	+4.66
高潮平均高潮面	+3.72
平均水面	+2.00
高水時平均高潮面(T.P.)	+1.91